

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第16回研修を開催しました！

令和7年9月27日（金）、28日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて、いわて新農業人チャレンジファーム第16回研修を開催しました。

今回の研修は、株式会社みちのくクボタから、越康貴氏と神山博章氏を講師にお迎えし、農作業安全②と題してトラクタ及び小型管理機の安全操作についての講義とトラクタの操作実習を指導していただきました。

講義では、全国の農作業事故の発生数とその状況の説明や、トラクタ及び小型管理機の安全操作方法や事故発生原因についての動画を視聴し、受講生は、農機を正しく安全に使用するためのポイントについて学びました。講師から、農機での事故は身体のみならず、経営にまで大きな影響を及ぼすため、安全操作にしっかりと努めて欲しいとのアドバイスを頂きました。

実習では、初めに講師からトラクタの運行前点検について、実際に農機を用いて丁寧に説明いただきました。次に、2班に分かれて、トラクタと小型管理機の操作実習を行いました。

講師と研修指導員のもとで、出席した受講生全員が、トラクタ及び小型管理機における、直進、旋回、耕うんなど、実際の農作業における一連の操作に取り組みました。

初めて操作する受講生もいましたが、全員が安全に実習することができました。

最後に、露地ほ場において、だいこんとキャベツを収穫し、研修は終了しました。

次回の研修は、10月3日（金）、4日（土）、雫石町南畑のコテージむらにおいて、堆肥作りなどについての講義と、さつまいも、さといもなどの収穫を行う予定です。



講義「農作業安全②について」の様子



トラクタの日常メンテナンスについて説明する越氏（中央）



トラクタを操作する受講生



だいこんを収穫する受講生